



Nakatsue No. 358

広報 なかつえ



長雨の隙間を
うめるように
子供たちの歓声が
プールにびびん

はじけ飛ぶ水のしびき
キラキラ輝く水面
流れる雲の合間から
夏の日差しが
顔を覗かせはじめ

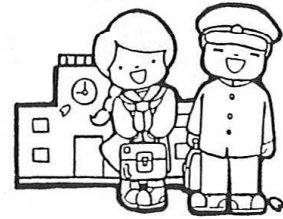
人口と世帯数 **96/6**

(5月末現在)

人口	1,427人(- 4)
男	684人(- 3)
女	743人(- 1)
世帯数	483戸(+ 1)

交流使節団

津江中学校国際交流 in 韓国



津江中学校と韓国徐羅伐女子中学校との親善交流が、五月二十四日から二十七日までの三泊四日の日程で実施されました。今年で四年目となったこの親善交流、昨年は韓国から日本へも交流団がやってきており、更にその効果が拡がってきたようです。津江中学校三年生二十五人の研修は、緊張とともに素晴らしい経験を与えています。異国での想い出の作文、全員の分が紹介できないのが残念ですが、子供たちの新鮮な感動をお読み下さい。

井上和也

ぼくは、外国に行ったのは初めてでした。韓国に着いたときも、車の走る方向などがよくわからなくて迷っていました。二日目になるとだいたい道にもなれるようになりました。

韓国の中学生とも交流会をして仲良くなれたので、とても良かったです。徐羅伐女子中の人は英語がとてもうまくて、何をいっているのかわかりませんでした。でも交流していく内に、言葉は何を言っているのかわ

からないけど、動作などで何がしたいのかだいたいわかるようになりました。それに韓国の文化なども知ることができたり、韓国人は僕たちと全然変わったところなど少しもなかったです。

韓国の食べ物で一番すごいなあと感じたのは、朝昼夜、絶対にキムチが出るということです。この韓国での事は、いい思い出にしたいと思います。



身近かな

とっても

桑野 沙織

五月二十四日から二十七日にかけての韓国研修旅行の感想は、初めての海外旅行ということもあり、とても楽しかったです。韓国の慶州市と釜山市を訪れ、たくさんのおいしい思い出がありました。

慶州市では、寺院の見学、免税店でのショッピングなどがあり、一番心配だった徐羅伐女子中学校との交流会がありました。交流会は大成功で、韓国人の友達も

できました。その他では、古墳公園や国立博物館などの文化財を見学することができました。

釜山市の方では公園や市場、国際墓地へ行くことができました。飛行機では、たかが三十分しか離れていない地なんだけど、文化や習慣の違いは大きなものなんだなと強く感じました。共に行動した教育委員会の人やバスガイドさん、それに個人的にだけど、特に旅行会社の人、どうもありがとうございました。お世話になりました。

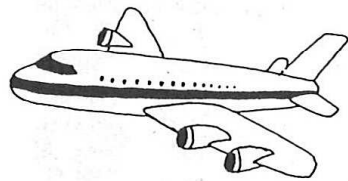
上田 隆由

僕が韓国に行って、一番思い出に残ったのは、やっぱりソラボル女子中学校との交流会でした。向こうの人たちと交流をする中で、一番びっくりしたことがあ

ります。それは、向こうの生徒はとても気が強くて、言葉がわからない僕たちに対して、どんどん質問してきたりしたことです。

あとソラボル女子中の三年生は、一日に七時間も授業があるといっていたので、僕にはとても信じられませんでした。そして、向こうの出し物を見て思ったのは、ダンスや民族の踊りなどがうまいということでした。

あと、観光の方で思い出に残ったのは二日目に食べた釜飯がおいしかったということです。韓国の料理はけっこう大胆だけど、けっこうおいしかったです。



川津 かわり

私たちは、五月二十四日から三泊四日の韓国研修旅行に行きました。私は韓国に行ったのは初めてで、だいぶ前からとても楽しみにしていました。

地図やテレビでしか見ない韓国は、日本の町並みと少しに違っていました。人も日本人とぜんぜん区別が付きません。ただ違うのが、食事の仕方です。日本人は普通器をもって食事したり、おかずなどは一度自分の器に入れて食べるのに、韓国では全く違ってました。そういう違いにおどろきました。

一番印象に残ったのが、徐羅伐女子中学校との交流会でした。徐羅伐中のみんなはとても積極的に話しかけてきたりして、たくさん友達ができました。特にプレゼント交換をした女の子とは、とても仲良くなることができました。この研修旅行は、楽しい思い出がたくさんつくることができました。

三 笥 寿

韓国に着いて最初に思ったことが「エネルギー」が満ちあふれているような感じがした。他に、別に変わったところなどないし、顔も違ったところなどなかった。あちらでは、朝昼晩、絶対キムチが出てくる。色はそんなにいい感じじゃないのが、後でじわじわ辛くなってくる。でもおいしかった。ビンバという料理があった。これは一番おいしかったと思う。からはあったが、あまり感じてボリュームもなかったからうれしかった。

徐羅伐女子中学校では、むちゃくちゃ英語がうまかったし、歌も大きな声だった。こちらは、ちょっとピッて声があまり出せなかった。あっちの方はよくしゃべってくる。でも内容がよくわからなかった。英語をもう少し勉強していくべきだったと思う。それでも少しは通じていたような感じだった。

飛行機は帰りでゆれがちよっと激しかったので落ちるか心配したが、無事に着陸した。

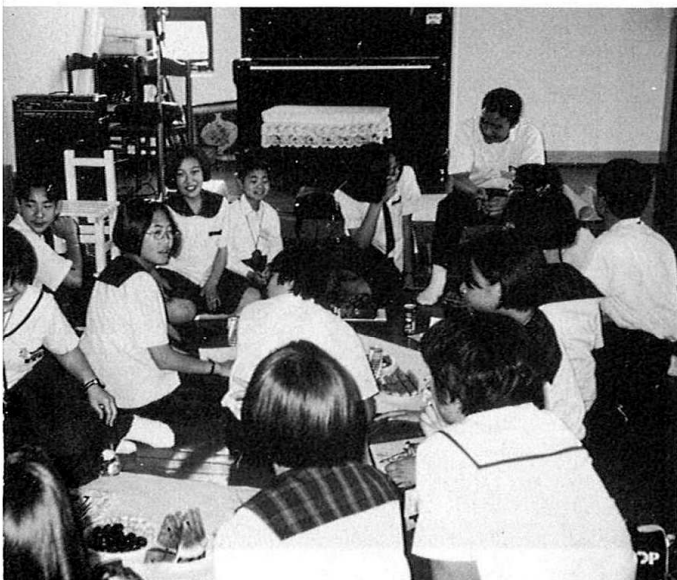
川津 美奈

私が四日間の旅行で学んだことは『異国の文化に触れる大切さと、勇気を持つて、日本人以外の人の交流をする』ということを経験しました。

韓国に行って一番心配だったのは、食べ物のことでした。韓国の生水は飲めないので、マナーがわからなかったからです。でも、ほとんどの料理はあたることもなく、おいしく食べられたし、韓国の食文化・マナーも知ることができて良かったです。観光のときの石屈庵・仏国寺・古墳公園・博物館では、その時代の大きな仏像、建物、飾りのスケールの大きさにも驚かされました。その反面、神様にささげるといふ形での鐘の中に入れられた少女の話聞いたと

きは、少し恐ろしい気持ちを受けました。ソラボル女子中では、少し受け入れてもらえる心配だったけど、すぐ和んで楽しく過ごせたのでよかったです。でも、韓国の生徒の勉強熱心さや、英語力が高いことにはすごく感心しました。

これから、旅行で学んだことを大切にして、韓国人とはライバルであり、よき友達としてつき合っていくようにしたいです。そのため、日本が韓国にしたことをしっかりと知っておきたいと思います。



自分の命、地域は自分たちの手で守る

6/2

避難訓練実施される

八割以上の参加

平成五年六月のあの豪雨から、すでに三年が過ぎようとしています。ダムの湖面を十万本もの流木がおおつたのは、まだ記憶に新しいところですが、倒木の処理は、ほぼ終了したというものの、今度の梅雨の期間中、いかなる災害がおそってくるかもわかりません。今一度、身の回りの危険箇所や非常持出品をチェックしましょう。



▲本番さながら、非常持出品を持って避難

「訓練放送！午前六時現在の降雨量が危険雨量に達しました。各地区は自主防災会長の指示に従って避難を開始して下さい。」けたたましく鳴るサイレンとともに実施された今年の避難訓練。一、〇七五名、率にして約八十二パーセントの参加があり、関心の高さがうかがわれます。

また災害発生を想定して消防団の出動要請もあり、現場へ急行し、無線機具のチェックなどを行いました。もし、現実に災害が発生した場合、頼りになるのは的確な情報と落ちついた行動です。日頃から、いざという時のための備えを充分に行っておくよう心がけておいて下さい。この訓練が形だけに終わらないようにするためにも、梅雨のこの時期、特に気を配る必要があります。

今回の訓練では、非常持出品、携帯品の調査も行われ、代表的な懐中電灯は全世帯の約六割の方が持参していました。その他、食料品やラジオは約三割にとどまっています。災害発生時には正確な情報が不可欠、ラジオも非常持出品に加えて欲しい物です。その他にも、食料品や医薬品、現金などの貴重品、衣類など必要なものを非常持出品として、家庭の中のわかりやすい所に備えて、いざという時のための準備をしましょう。

この避難訓練に先立ち、五月中には防災連絡会議を開催。五月末には、約二十箇所の危険が予想される場所を消防団や警察、県の各機関とともに巡視する防災パトロールも実施されました。切り立った崖の下に人家・道路が散在・設置している国道沿いの地区は、特に災害に遭いやすい地区として注意がむけられています。いざれにしても、自分たちの命や地域は、自分たちの手で守るという意識のもと、自主防災組織の更なる強化が望まれるところです。

▼消防団も現場に出動



ぼくたちが見つめる未来の農業

vol.4 中津江小学校 5年

“中津江村の未来の農業”

横山 麻衣

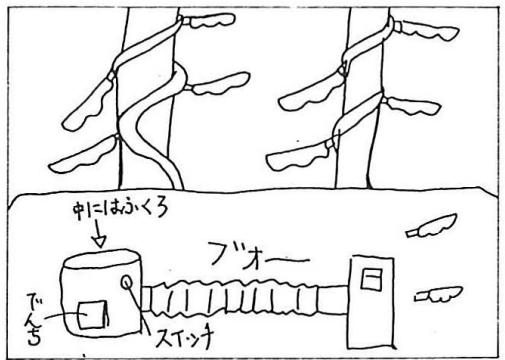
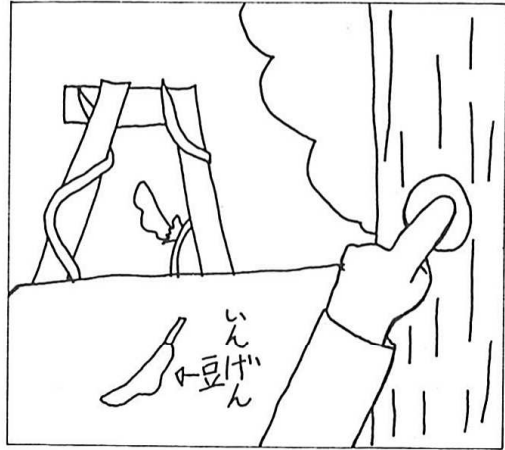
中津江の未来の農業は、くろうしないで作れる農業がいいと思います。くろうする仕事だと若い人達が入らないしにぎやかにならないからです。

例えばいんげん豆だったら5月になってたねをまいて、竹のぼうをたてたりといそがしくてとても大変なので全部、機械でできるいんげん豆がいいと思いました。

例えば、5月になったらたねをどこからでもころがしてあなのあいている所に入れます。ぼうは、遠くからなげて土につきさします。

そして、つるがのびだしてきたら木にボタンがついているのでそれをおしてぼうがかっ手にうごきだしてたてます。そして、いんげん豆をとる時は、手で一つずつとると、とっても時間がかかり大変なので実がなったらかっ手に地面におちてそのおちたのをそうじきみたいなのですいとります。そして、そうじきみたいなのをふくろに入れておいて全部すいとれたらふくろをとりだします。

これでいんげん豆ができます。こうすれば大変ではないし、ボタン1つですむからよいと思いました。



ユニークなソフト事業をバックアップ

日田玖珠内の各市町村で構成される、広域市町村圏事務組合では、各行政から出資された基金の運用として、圏域一体的な活性化を図る目的で、ユニークなソフト事業に対して補助金を交付する「一般公募交付金事業」を実施しています。補助の対象となるのは、民間団体等が地域の特性を生かし、創造的で先導的に行うソフト事業、具体的にはイベント振興に関することやスポーツ振興、伝統文化や新しい文化の創造のための事業、人材育成のための交流事業など多岐にわたります。広域の基金の利子で行う事業だけに、低金利の現在、財政的には厳しい状況で予算にも制限がありますが、村民の皆様方のユニークな活動をお待ちしています。

この交付金事業に関するお問い合わせは、役場企画課までお気軽にどうぞ。

7月は「社会を明るくする運動」月間です

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更正に理解を深め、それぞれの立場から協力し、犯罪のない明るい社会を築こうとすることを目的とし、毎年七月一日から三十一日までの一ヶ月に亘り全国的に展開される国民的運動です。

この運動は、地方自治体及び関係諸団体等の御理解と御支援により着実な成果を挙げ、回を重ねて今年で四十六回目を迎えました。

この期間中は、保護司会や更正保護婦人会などが中心になりミニ集会、街頭パレード、映画会などを行いますので地域の方々のご参加、ご協力をお願いします。

標語

「ふれあいと
対話が築く
明るい社会」

社会を明るくする運動

日田地区実施委員会

イアンの“風” となりの芝生は… by Ian Cufley

あちこちを動き回ったり数多く旅行をすることの大きな利点の一つは、違った場所での生活の良いことや悪いことの価値を識別できるということです。でも、長い間違った国に住んでいると、とても塞いだ気持ちになるかもしれないし、きわめて否定的な気持ちになってきます。この気持ちは、私が日本を離れる前に感じていましたし、イギリスで過ごしたこの数週間は、リフレッシュして日本に戻ただけでなく、私自身の生きる上でのポジションや日本をどう見るかということを見直させてもくれるものになりました。

ひどい時差ボケでロンドンに戻ったとき、すべてが悪い方向に行くような気がしていました。それはレンタカーを借りる所で始まりました。まず初めに受付の人がいなくなり、それからレンタカーまで連れていってくれるバスのドライバーさえもどこかへ行ってしまったのです。そのとき私は、イギリスではお客を満足させるサービスの概念など、もう過去のものになっているのだとわかりました。それからロンドンの近くでひどい渋滞（過去で最悪のものだったらしい）につかまり、それで何か食べるためサービスエリアに止まることにしたのです。10分間座って待たされた後で、私は大好きなものを食べられないとわかったのです。何故って、それは牛肉で作られていたからです！

日本っていいところだなーと既に思い始めていました。でも、本当に私が失望させられたのは、家へ向かう車のラジオで聴いたことー“ロードレージ”の最近のケースーです。イギリスで、ここ数年前から頻繁に使われるようになったこの“ロードレージ”というフレーズ。レージとは車を運転するときに陥る人の怒りのことで、その怒りはたびたび暴力につながるのです。結果的に人殺しとなるケースもあります。私も今までに2、3回この“ロードレージ”に見舞われたことがあります。私は相手のドライバーを激怒させるようなことは何もしていないのに、口汚く罵られたりしたのです。同じ日、私は、ラジオでもっと信じられない現象を耳にしました。“花粉の激怒”と呼ばれる私も初めて聞く言葉です。“ロードレージ”のように人々は自制心を失い、暴力的になるのですー彼らが花粉による病に犯されているという、きわめて信じられない理由で。これを聞いたとき、私は日本に帰ろうかと思いました。

しかし、これだけでさえ十分なのに、まだ悪いことが起こったのです。家へ着く次の日に、友人の結婚式に出るようになっていたのですが、私がその友人にあつたとき、彼の首の動きがとても変だと言うことに気がつきました。何でそんな風になったのか彼に尋ねると、彼ともう一人の友人で結婚式の前夜、ホテルに戻ろうとしたときに8人の男たちから暴行を受けたそうです。私の友人は喧嘩をしない人なので、受けた暴力は全く不当なものということになります。結果的に彼は結婚式の前夜、6時間も病院で過ごすはめになったのです。

これを読むと、イギリスについて怖がらせることばかりのようだけれど、全体を見れば、ほかの多くの場所よりもイギリスは安全な場所といえるでしょう。本当に警察さえも銃を持っていないんです。でも私の言いたいことは、日本で生活することの安全性を、今だからこそもっと認めることができるということです。また、日本のいいマナーや、いいサービスの概念も、今だからこそ認めることができます。明らかにイギリスにも、日本より優れたところがあります。こういうことは、この1週間か2週間で感じるようになるでしょう。いわゆる、となりの芝生は青い……ということでしょうか。



イアンが、5月末から約3週間、母国イギリスへ戻っていました。国際交流事業とホームステイの打合せ、それから友人の結婚式のために。我々も欧米にあこがれを持つもの、やはり米の飯より隣の麦飯なのでしょう。

「平成咸宜塾」塾生募集

平成2年度から実施してきた地域農業のリーダー育成を目的とした「おおいた農業平成塾」の塾生を中心に実践活動を通じての人材育成を図るため、日田地域の若者塾「平成咸宜塾」を開設します。活動期間は平成8年度から3年間で、募集人員は全体で10名程度です。講座研修等の研修会や先進地視察など、様々な活動を行う予定です。

○募集期限

7月5日

○塾生資格

おおむね40歳以下の農業に真剣に取り組んでいる者

○問い合わせ

農業改良普及センター
(23-2217)
重本、中野まで

夏休み親子教室

日田保健所では、小学生とその親を対象に楽しみながら学べる健康体験教室を開催します。夏休みの思い出にぜひどうぞ。

▽日時

7月31日(水)10:00～

▽場所 日田保健所

▽対象 小学校低学年とその親

▽申込み締め切り

7月24日(水)先着30組

▽申込み先

日田保健所保健予防課
(23-3133)

お知らせ

初心者狩猟講習会開催

大分県猟友会では、下記の通り初心者に対する狩猟の講習会を開催します。

●甲種(網・なわ)

7月29日10時から

●乙種(ライフル・散弾銃)

丙種(空気銃・ガス銃)

7月30日10時から

●場所 大分県教育会館

●受講料

各種それぞれ7,000円

甲乙又は甲丙9,000円

乙丙 7,000円

●申込先

大分県猟友会日田郡支部
(23-4064)古賀まで

あなたの声が道づくりに生かされます

渋滞、高速道路、身の回りの道について発言してみませんか。道に対する意見を「21世紀のみちを考える委員会」までお寄せください。建設省の諮問機関である道路審議会では、「21世紀のみちを考える委員会」を設け、これからの道づくりについて広く皆さんの意見、提案を求めています。このため、提案の仕方などを紹介したキックオフ・レ

ポートを希望者に差し上げています。このレポートを入手したい方は、大分県道路課までお問い合わせください。

(0975-36-1111)

○ご意見の提出方法

・郵送の場合 〒105 東京都港区虎ノ門2-8-10第15森ビル内「21世紀のみちを考える委員会」事務局

・FAX 0120-62-6661

(フリーダイヤル)

緑のオーナー募集

熊本営林署では、国有林の分収育林契約者(緑のオーナー)を募集しています。

◇募集箇所

菊池市鉾ノ甲国有林

◇契約者は、植えてから36年たった立木の共有者になり、契約口数に応じた持ち分を取得します。◇契約期間後に立木を販売し、その収益を契約者と国で分配します。

◇個人、法人、団体を問わず一口50万円で何口でも参加できます。

◇契約後の森林の手入れや管理は、国が責任を持って行います。

◇募集期間は、平成8年9月11日まで。

◇問い合わせ 熊本営林署
0968-25-2101



|| 慶 弔 ||

◆お悔み申し上げます

原 高倉 工様
鯛生 江頭 乃武夫様



〔ご寄付お礼〕

■社会福祉協議会へ

〈見舞返し〉

梶原 政 輝様……………

■田ノ口公民館へ

〈見舞返し〉

武原 マツエ 様……………

武原 トキ子 様……………

■堤公民館へ

〈見舞返し〉

梶原 政 輝様……………

■市ノ瀬公民館へ

〈見舞返し〉

山口 由 記 様……………

三〇、〇〇〇円……………



▲B & Gでのプール開き

待ちに待った

梅雨空を縫うように
楽しい
プール開き

降りつづく雨のため、六月十日に予定されていた小学校のプール開きはやむなく延期。結局、各学年ごとのプール開きとなってしまう。まだまだ水は冷たいものの、さすがに元気のよい子供達、なれてくるとキャーキャーと歓声があがっていました。これからは本格的な夏を迎えるまで、こうして雨のすき間を縫うようにプールでの活動が行われることでしょうか。楽しく事故のないよう水と親しんで欲しいものです。またB & Gのプール開きも六月二十二日に行われ、いよいよシーズンを迎えました。

ホールに響くJazzの調べ ～ジャズプラザinなかつえ

●今後の予定
七月二十九日―世界的に有名なジャズピアニスト、マル・ウォルドロンのコンサート。
中津江村民ホールでの、今月のイベントは「小津昌彦ジャズプラザインなかつえ」昨年と同じ時期に行われたジャズコンサートでしたが、前回よりも少し多めの入場者は、心地良いジャズの調べとワインのサーブにすっかり身も心も酔っていたようです。
本物の音楽文化が根づいていくには、まだまだ経験不足なこの中津江村。こうした様々なジャンルのイベントの開催が独自の雰囲気育て、中津江村のイメージアップに役立つことを期待します。



つれづれ

日々の心に残るたわいもない事を、勝手に書いてきたこのつれづれであるが、今月なかなかテーマが決まらない。梅雨に入り、生まれて二度目の田植えや、避難訓練、雨の合間の郡民体育大会への参加など、週末は特にウロウロとしてきたのだが、日々これとはなしたに過ごしている報いだらうか、何かこれといって印象に深く刻まれていない。だいたい不精な質なので、詳しくメモを取ることもないし、人に言われてそうだったんだと気付いたりする事の方が多い。ただ最近は特に遅くまで起きているのが辛く感じられるようになって。年を取ったなーと感じるのは、午前様がこたえるようになったのと、スポーツの後のこりが直後でなく何日か後に出るようになってきた時である。締切りに追われ真夜中に書いているこのつれづれであるが、朝が辛いだらうと、今から先のことを悔んでいる私である。